

令和5年度 第2回越谷市立小中学校学区審議会会議録

- 1 開催日 令和5年8月3日(木)
- 2 会場 市役所本庁舎 8階 第1委員会室
- 3 開閉会 開会 午後3時30分
閉会 午後4時40分
- 4 出席委員 深井 晃 委員 佐々木 清 委員 原田 肇 子 委員
平松 和義 委員 滝本 守 委員 福島 茂樹 委員
遠藤 敏子 委員 鈴木 実 委員 高山 水子 委員
佐々木 京子 委員 馬場 れい子 委員 石塚 忠男 委員
深野 弘 委員 戸張 信彦 委員 吉井 仁実 委員
加瀬 朱子 委員 小幡 肇 委員 五味田 真紀子 委員
- 5 欠席委員 手塚 麻美 委員 小池 美佳 委員
- 6 事務局出席者
学校教育部長 青木 元 秀
学校教育部副部長兼学校管理課長 五十嵐 治
学校教育部副参事兼学務課長兼小中一貫校整備室長 磯山 貴 則
給食課長 中野 聡
教育センター所長 菊池 邦 隆
学務課小中一貫校整備室主幹 岡田 益 史
学務課小中一貫校整備室主任指導主事 木村 将 紀
学務課小中一貫校整備室主任指導主事 平林 涉
学務課小中一貫校整備室主任 森田 浩 司
学務課小中一貫校整備室主事 内田 望 美
学務課学事担当主幹 武内 英 樹
学務課学事担当主事 戸田 陽菜乃
学務課学事担当主事 青谷 奈津季

7 報告事項

- (1) 令和5年度第1回越谷市立小中学校学区審議会会議録について
- (2) 越谷市立小学校及び越谷市立中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部を改正する規則制定について

8 協議事項

- (1) 川柳地区小中一貫校設立に伴う通学区域の設定について
- (2) 今後のスケジュール(案)について

【令和5年度第2回越谷市立小中学校学区審議会会議録要旨】

1 開 会

2 報告事項

- (1) 令和5年度第1回越谷市立小中学校学区審議会会議録について
事務局より前回の審議会会議録について説明を行い、原文のまま承認された。
- (2) 越谷市立小学校及び越谷市立中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部を改正する規則制定について
事務局より資料に基づいて報告を行なった。

3 協議事項

審議会条例第5条第2項の規定により、小幡会長が議長となり議事を進行する。

(1) 川柳地区小中一貫校設立に伴う通学区域の設定について

議長 事務局に説明を求める。

事務局 川柳地区小中一貫校設置に伴う通学区域の設定について説明を行い、(仮)川柳学園及び(仮)明正学園設立に向けた学区改編案を提示した。

議長 委員に質疑・意見を求める。

(質疑・意見)

委員 川柳小学校の児童数があまりに多い。スクールバスを使って他の学校に連れて行くことはできないか。

事務局 以前、学校の設置場所を検討した段階で他校へのスクールバスでの移動も検討した。毎日スムーズに時間どおりに複数台のバスが運行できるか現在の交通状況では難しいのではないかと、また飛び地になるので土日・長期休業時に隣近所に同じ学校の子がいないというコミュニティ区との整合性の問題があり、現在の構想を進めております。

委員 川柳小学校5・6年生の体育の授業はどちらで行うのでしょうか。

事務局 体育館を含め高学年校舎がある敷地内で行うことを考えております。

委員 大相模中学校の生徒数は今後増加していくようだが、光陽中と(仮)川柳中は令和9年で分かれて半分になる。このタイミングで更なる学区改編は予定しているのか。

事務局 令和9年度での更なる学区改編は考えていない。もちろん長期的なスパンで考えれば人口減、児童生徒数減にあたって考えていかなければならないが、今後、西方小は横ばいだが、大相模小の児童数は減少していく見込みのため現在のところ考えておりません。

委員 中学生が800人も学校の中にいるのは多いのではないかと思う。それが続くような傾向が今後見られるのであれば、そこはぜひご検討いただければと思う。

委員 意見というよりも、レイクタウンに住んでいる保護者の状況を共有したい。子供が小さい頃は学区関係なく幼稚園・保育園のつながりで大相模小の子供たちとも遊んでいた。現在でも保護者は横のつながりがあり色々な話をするが、傾向として川柳小に通っている保護者からの意見というか不安的なところ、人数が多いとか、自分は何年生だけどどうなるかそんな会話がが多いので一番気にされているのは川柳小保護者の感じがする。小学校は分かれてもレイクタウンは一つだと思われ、レイクタウンみんなの子が過ごしやすい・生活しやすい環境であることを願っているし、問題があるときは全体的に共有しながら解決の方向に向かっていければ良いと思う。

委員 13地区と学区の関係性をご存じの方教えてください。

委員 明正小に関して言えば、川柳の土地にある小学校だが、もともとは蒲生東町の子供たちが通っていた学校で蒲生エリアの通学区だった。レイクタウンが15年ぐらい前にできてレイクタウンの子供たちが増えて、最終的に5年ぐらい前に蒲生東町の子の通学区が蒲生小に移った。自治区は大相模地区に属されると思う。以前は蒲生地区だった。

地域住民として保護者と言うならば地区と通学区は一致していただきたい。

委員 学校は自治会のご協力をいただいで活動もありますので自治会長もご苦勞が
ありかと思うが、その辺を聞かせてほしい。

委員 学区の問題は別にして、レイクタウンの中にも6・7自治会がある。川柳地区に
入っている自治会もあるが大相模地区としては3つの自治会、レイクタウン一丁
目自治会、北自治会、D' グラフォート自治会とお付き合いさせていただいて
いるが、ただ、私は前々から落ち着いたらレイクタウンとして一つの行政区になれ
ば一番良いのではないか、レイクタウンで協議会の自治会を作っていたらだけ
ばと考えている。

しかし、学校が分かれているものですから統一するのは難しい。やはりお住まい
の方は子供中心にして動きますからなかなか統制が取れない。

委員 地域、学校、家庭の連携を今後も進めていただければと思う。

委員 私は平成21年レイクタウン街びらきの時に大相模小学校に勤めていた。レイク
タウンが開発されるということで何回か会議に学校を代表して出席していたが、
当時、明正小学校は100名程度で教室は空いていた。大相模小は600名ぐら
いだったが、戸建てのエリアは大相模小に入り、マンションエリアの子供は明正
小に入るという説明だった。その後川柳小も増えていくので川柳小にもご協力い
ただくという当時の考え方であった。いずれこうなるであろうというのは私も想
定していたのだが、その時点でまた新しい委員の方で協議をしなければなら
ないのではないかというのが当時の話題であった。

なお、越谷レイクタウン駅の南北で川柳地区と大相模地区が分かれるとお思いの
方もいるかもしれないが、越谷南高校の東側までは千足なので大相模地区。レイ
クタウンの大半は大相模地区ですので補足させていただく。

(2) 今後のスケジュール(案)について

議長 事務局に説明を求める。

事務局 今後のスケジュール(案)について事務局案を説明した。

議長 委員に質疑・意見を求める。

(質疑・意見なし)

以 上